

まつだの水道の今

～みんなで支える みんなの水～



稻郷地区から望む、中津川

○松田町の水道事業	1 頁
○松田の水はどのように届けられるの？	2 頁
○安全安心な水をお届けするために	2 頁
○上水道事業の経営状況	3 頁
○寄簡易水道事業の経営状況	4 頁
○今後の更新工事	5 頁
○松田町の水道施設の配水系統図	6 頁
○おわりに	7 頁

令和8年1月



松田町の水道事業



まつだの町営水道は、松田地区の上水道事業から始まり、大正13年の創設以来、約100年にわたり、皆さんに安全で安心な水道水を供給するため、水道事業を運営してきました。寄地区については、複数の簡易水道事業^{※1}の統合を経て、平成11年に現在の寄簡易水道事業となり、町内では、上水道事業と併せ、2つの水道事業が存在しています。

水道事業は、地方公営企業法により独立採算制^{※2}を原則としており、水道使用料金の収入で経営しています。また、他会計からの繰入金等を利用し、水道使用料金の収入でまかなえない部分を補填して経営をしています。しかし、昨今的人口減少や物価高騰、更新時期を迎える施設等の更新工事や管路の耐震化など、今後の経営に必要な費用が増加していく傾向にあり、現在の収入だけでは、事業の継続性並びに、安全で安心な水道水の供給が危ぶまれる状況です。

※1 簡易水道事業：計画給水人口が101人以上5,000人以下の地域の水を供給する事業であり、法律に基づく水質検査などの基準は水道事業と同等

※2 独立採算制：水道事業に必要な費用を、税金ではなく水道使用料金の収入でまかなう仕組み

☆湯の沢地区については、給水協定により秦野市の水道事業から給水☆

	上水道事業	寄簡易水道事業
給水人口	8,692人	1,365人
水源数（井戸数等）	2水源（4井戸）	5水源（4井戸1湧水）
配水池数	4配水池	7配水池
水道料金	1,485円／1ヶ月20m ³ 当り	

令和6年度決算統計より

料金比較 1ヶ月20m³当りの水道料金



実は…

現在、松田町の水道料金は、県内でも1～2位を争う安さで、
全国でも15番目に安い水道料金なんです！！

電気料金は
ここ15年間で
約60%も値上がり
しているんだって！



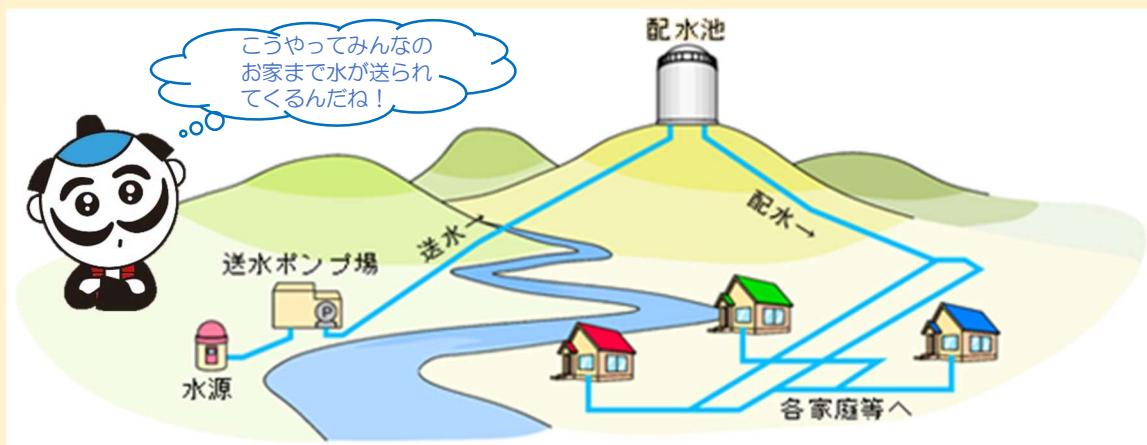
松田町の水道料金は平成6年から約30年間、現在の水道料金で経営しています。

・・松田の水はどのように届けられるの？



松田町には上水道、寄簡易水道の2つの水道事業があり、それぞれ独自に水を汲み上げ、皆さまのご家庭に供給しています。

松田町では基本的に地下水を汲み上げて利用しています。汲み上げられた水は滅菌を行い、各配水池にそれぞれ送られます。配水池は標高の高い場所にあり、配水池までポンプで送られた水は、重力の力で皆様のご家庭に供給されます。この方法を「自然流下方式」と呼びます。

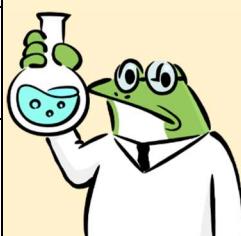


安全安心な 水をお届けするために

町では、安心して水道水を利用していただくために、水道法に基づく水質検査や、滅菌液による消毒を実施しています。

水源となる井戸（原水）や給水先の末端（浄水）すべてにおいて、検査を実施し、安全性を確認しています。

	定期検査	毎日検査
頻度	1年に1～12回（項目等による）	毎日
項目	原水における40項目 浄水における51項目	浄水における4項目 (色・濁り・味・残留塩素量)
場所	水源となる井戸や沢（原水 7か所） 公園の蛇口など（浄水 11か所）	公園の蛇口など (浄水 11か所)



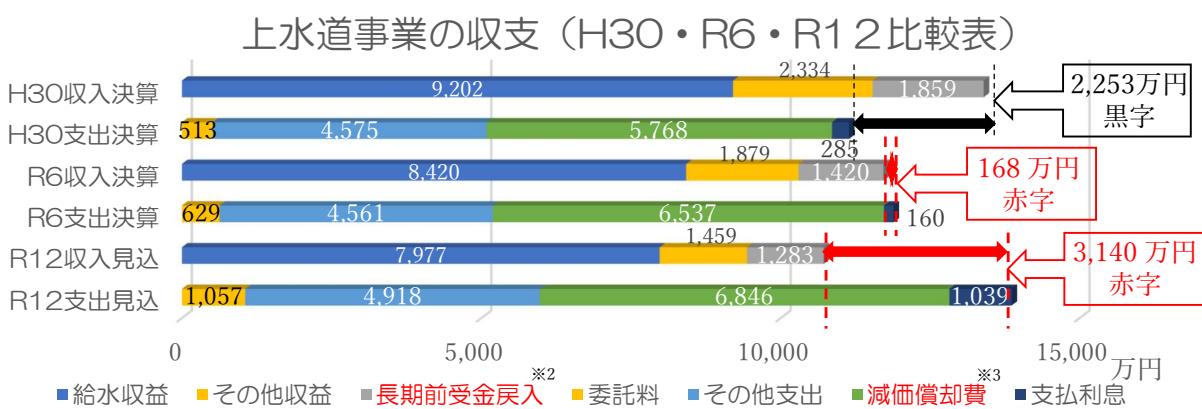
松田町の水は、原水がきれいなため、法律で定められている最小限の滅菌消毒のみで、おいしく安全な飲み水になります。

上水道事業の経営状況



給水人口^{※1}の減少に伴い、有収水量（使用水量）が落ち込んでおり、今後も人口減少とともに、有収水量の減少が見込まれます。
また、有収水量が減少することにより、給水収益の減少が見込まれます。

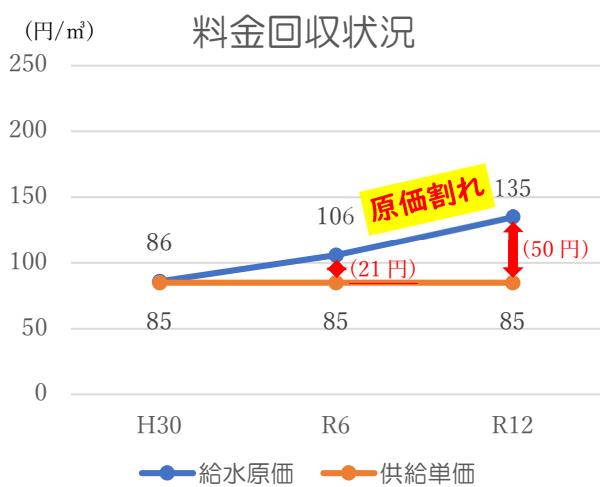
※1 給水人口：松田町の水道事業による水の供給を受けている人数



- ・収入は経年的に減少傾向となっており、主な原因は給水収益(水道使用料金)の減少となります。
- ・支出は経年的に増加傾向となっており、主な原因は減価償却費の増加によります。
- ・令和12年度には、不足額が年間約3,140万円見込まれます。

※2 長期前受金戻入：過年度に受け取った補助金等を毎年少しずつ収益として計上する費用

※3 減価償却費：施設等を整備した費用を、耐用年数にあわせて毎年分割して計上する費用



給水原価^{※4}に対し供給単価^{※5}が下回っているため原価割れが生じています。

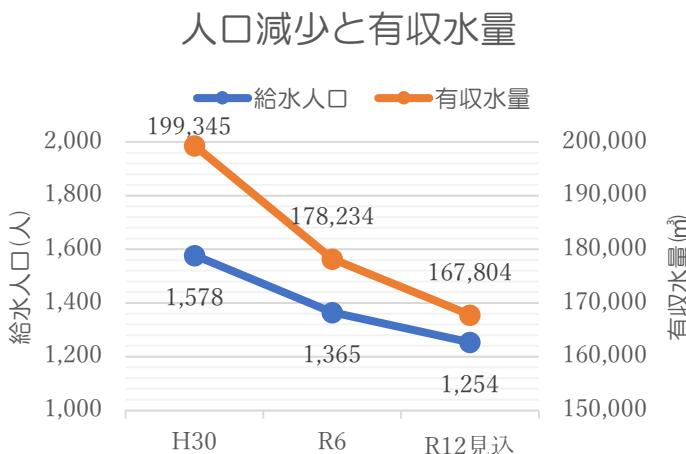
売れば売るほど赤字！



※4 給水原価：水1m³当たりを作るための費用

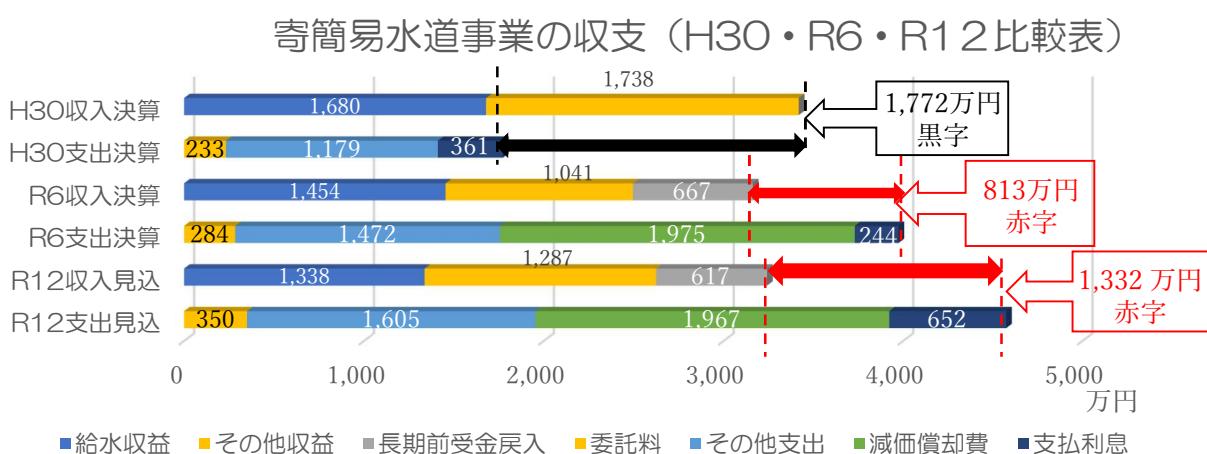
※5 供給単価：水1m³当たりで得られる収入

寄簡易水道事業の経営状況

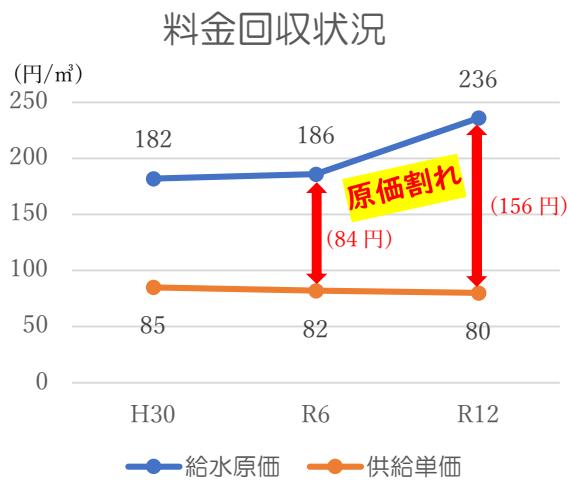


寄簡易水道事業についても人口の減少に伴い、有収水量（使用水量）が落ち込んでおり、今後も人口減少とともに、有収水量の減少が見込まれます。

また、上水道事業に比べ人口減少率は低いですが、減少傾向であることは変わらず今後、上水道事業と同様に給水収益の減少が見込まれます。



- ・収入は増減をしていますが、給水収益（水道使用料金）は経年的に減少傾向にあります。
- ・支出は全体的に増加傾向となっており、今後も増加していくことが見込まれます。
- ・令和12年度には、**不足額が年間約1,332万円**見込まれます。



給水原価に対し供給単価が下回っているため原価割れが生じています。

売れば売るほど赤字！



また、上水道事業に比べ、寄簡易水道事業の方が給水原価と供給単価の乖離が大きくなってしまっており収入と支出のバランスが崩れてしまっていることがうかがえます。

今後の更新工事



今後5年間
1.8億円



今後10年間
2.5億円

今後15年間
5.4億円

上水道事業

水道管路の更新費用
11.4 億円（今後 15 年間）



今後5年間
2.0億円

今後10年間
4.0億円

今後15年間
6.0億円

寄 簡易水道事業

今後15年間で

上水道事業 10.5 億円(年間約 0.7 億円)
寄簡易水道事業 11.2 億円(年間約 0.75 億円)
の更新費用が必要。

さらに、その後も更新工事は継続されます。

今後5年間
2.0億円

今後10年間
3.8億円

今後15年間
5.1億円

水道施設の更新費用
10.3 億円（今後 15 年間）



神山配水池 (H 7 年建築)

今後5年間
2.0億円

今後10年間
4.2億円

今後15年間
5.2億円



宇津茂送水ポンプ場(H12年建築)

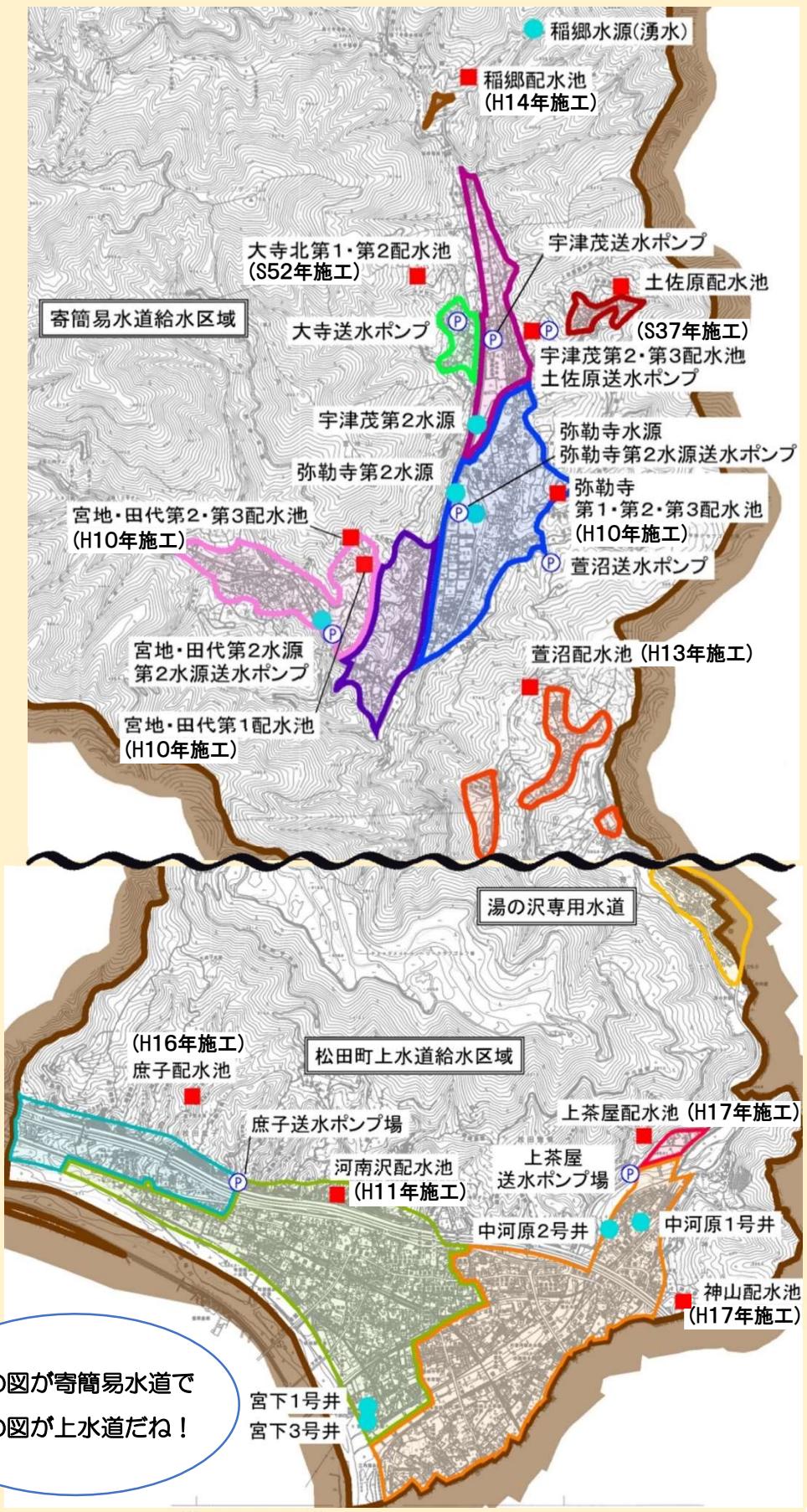
松田町の水道施設の配水系統図



配水池	
水源・取水施設	
送水ポンプ	
行政区域	
庶子配水池系統 給水ブロック	
河南沢配水池系統 給水ブロック	
神山配水池系統 給水ブロック	
上茶屋配水池系統 給水ブロック	
稻郷配水池系統 給水ブロック	
大寺配水池系統 給水ブロック	
宇津茂配水池系統 給水ブロック	
土佐原配水池系統 給水ブロック	
弥勒寺配水池系統 給水ブロック	
宮地・田代第1配水池 系統給水ブロック	
宮地・田代第2配水池 系統給水ブロック	
萱沼配水池系統 給水ブロック	



上の図が寄簡易水道で
下の図が上水道だね！



おわりに

「まつだの水道の今」について、おわかりいただけましたでしょうか？

松田町の水道事業は平成6年4月の料金改定以来、約30年にわたり業務効率化や諸経費の削減に努め、水道使用料金を維持してまいりましたが、

「広報まつだ」などでもお知らせしているとおり、人口の減少や節水意識の高まりで水道使用料金の収入は減っていき、水道水を作るために必要な経費は物価高騰などで上がってきているため、**水道企業の経営が悪化**してきています。

また、水道使用料金には、消費した水の代金という意味だけではなく水道施設という財産に投資し、将来に引き継ぐという意味があります。（国土交通省「いま知りたい水道」より）

私たちや、その子や孫たちが、**安全でおいしい水道水を将来にわたって使い続けるためには、水道施設を自分たちの財産と捉え、維持し引き継いでいかなければなりません。**

現在、赤字経営となっている水道事業を早急に立て直すことを目指し、松田町水道事業運営審議会を開催し、委員の皆さまと審議をかさねておりますが、水道事業の現状を踏まえると、**水道使用料金の改定（値上げ）を検討せざるを得ない**状況となっています。

水道事業の健全な経営を図り、将来にわたり安全で安心な水道水を安定供給するためには、どうあるべきか、今後、さらに議論を深める中で、水道使用料金の改定も含め、検討を進めてまいります。

水道使用料金の改定を進めていく過程におきましては、
パブリックコメントを実施し、
皆さまのご意見をお伺いさせていただきますので、
ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



松田町環境上下水道課
上下水道係

〒258-8585 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領2037
TEL : 0465-83-1227 FAX : 0465-83-5031
Mail : suidou@town.matsuda.kanagawa.jp